

企画書評価基準

「2024 年度Σビジネスに携わる社員への研修の委託」

株式会社ゆうちょ銀行
地域リレーション部門
地域共創推進部

本評価基準については、「2024 年度Σビジネスに携わる社員への研修の委託」の仕様書等に基づいて定めたものであり、評価に当たっては以下により行う。

1 評価項目

評価項目は、下表に定める項目とする。

2 委託先の決定方法

公募文のとおり。

3 評価観点

評価観点は下表に定めるとおりとし、これに基づき加点を与える。

企画書評価基準表

評価項目	評価観点	配点
ア 研修内容	<ul style="list-style-type: none">○構成<ul style="list-style-type: none">・カリキュラムを具体的(順序・時間配分・重点ポイント等)に記載しているとともに、各項目の内容が受講生を対象とするのに妥当な水準となっているか○講義・事前課題<ul style="list-style-type: none">・研修で使用するテキスト・ワークシートが記載されており(重点となる部分で可)、研修の目的を達成する上で有効な内容(講義、事前課題)となっているか・Σビジネスに必要となる知識が習得できる内容となっているか○演習<ul style="list-style-type: none">・ねらいが明確になっており、受講生が研修内容を十分に理解できる内容となっているか	90
イ 講師の経歴及び実績	<ul style="list-style-type: none">○登壇実績<ul style="list-style-type: none">直近1年間の以下の実績は十分か・登壇実績(登壇日数を記載すること)・研修内容の登壇実績(登壇回数を記載すること)・金融機関向け研修の登壇実績(登壇回数を記載すること)○職務経歴<ul style="list-style-type: none">・本研修で登壇するにあたり十分な職務経歴か(業種・職種・役職を記載すること)・研修講師経験年数は十分か(社外向け研修に登壇した年数を記載すること)○研修内容の均一化<ul style="list-style-type: none">・講師間の連携が十分にとれる体制であるか	50

評価項目	評価観点	配点
ウ 運営体制	<p>○研修開始までの準備体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なスケジュールが示されており、研修やテキストの内容の調整期間が十分に確保されているか ・運営体制(打ち合わせ担当者やテキスト作成体制等)は整っているか ・社内設備を利用したリモート研修についての具体的な実施策を提示できているか <p>○研修中・研修後のサポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修中の事務局や研修後のアフターフォローを滞りなく実施できるか 	25
エ 実績	<p>○金融機関向け・同階層向け研修の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年における実績は十分か(年度ごとに、主な実施内容・受託企業数・延べ実施回数を記載すること) ・本研修と同内容を3年以上継続している委託案件はあるか(継続年数と講義内容を記載) 	25
オ 見積額	<p>○見積額の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の要件を満たした上で、コスト面での工夫がなされているか(見積書は費用の内訳等を詳細に記載のこと(税込額)) 	60
カ その他	○その他、特に有益となる提案を評価する。	50
	合計	300